

授業科目	国内旅行実務				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21102J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-4			
担当教員	宮原 英利							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>旅行会社での営業等の実務経験を基に、国内運賃・料金の規則等を項目ごとに解説を行い理解を深めます。更に観光関連法規と合わせて、国家試験である「旅行業務取扱管理者試験」の合格を目指します。毎年秋に実施される国家試験「旅行業務取扱管理者(国内・総合)」に対応します。「国内」試験3科目「旅行業法」「約款」「国内旅行実務」のうち、後者1科目を取り上げます。中心は、国内観光資源とJRや宿泊の運賃・料金です。前者2科目は、「観光関連法規」の授業で対応するので、「国内」受験予定者は両授業を履修することが望ましいです。「総合」はさらに「海外旅行実務」科目が課されますが、これは「海外旅行実務」(2年次)の授業で対応します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 観光地理については、配布資料にて主要観光地等をまとめ暗記する。</p> <p>2. 旅行実務(国内運賃・料金)については、授業時に解説を行い、その後に過去問を解き習熟アップを図る。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	70	0	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)		70					70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)						30	30	
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国家試験3科目のうち、「国内旅行実務」の合格点(60点)が取れるようになる。				<p>1. 一般生活で通用するレベルの国内観光資源の知識が身につく、この分野での報道や話題を理解できる。</p> <p>2. JR、国内航空、宿泊など一般生活でも役立つ運賃・料金のルールが身につく、人に説明できる。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション ・国家試験概要の説明 ・授業の進め方の説明	講義	該当部分の予習 国内運賃(旅客営業規則)の 予習	30
2	JR (運賃計算の基本:営業規則・乗車券類の概要)	講義	該当部分の予習、復習	90
3	JR(運賃計算の原則、運賃計算の特例)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
4	JR 運賃計算(普通乗車券の効力、運賃の割引)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
5	JR 運賃計算(料金計算の基本、新幹線内乗継等)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
6	JR 料金(新幹線と在来線特急・急行列車との乗継割引)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
7	JR 料金(JR各社の新幹線相互間を利用する場合の取り扱い)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
8	JR 料金(新幹線の取り扱い、JR各社間を利用する場合の取り扱い等)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
9	JR 乗車券類の変更・取り消し・払い戻し	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
10	JR 団体乗車券の取り扱い	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
11	航空(航空券販売の概要)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
12	航空(運賃・料金)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
13	航空(変更・取り消し・払い戻し等)	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
14	宿泊、貸切バス、フェリーの各運賃、料金	小テスト 講義	該当部分の予習、復習	90
15	運賃・料金まとめ	小テスト 講義	該当部分の復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>地理については、単純に暗記する項目が多い。国家試験だけあって忍耐力が必要である。一方、運賃計算などで暗記するのは、少しのルールと例外規定だけである。問題文を冷静に理解する能力と、的確な判断力が要求される。</p>			
テキスト	<p>JTB総合研究所発行 旅行業実務シリーズ3 国内運賃・料金</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・高校までに使用した日本地図帳 ・JR時刻表 ・国内旅行業務取扱管理者試験 科目別速習問題集(JTB総合研究所発行) 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>・国内地理は授業内では取り扱わないため、自学が必要となる。高校までの地理とは違って、観光に関する地理なので、国内の観光地については日頃から意識していると自然と覚えることも多い。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>授業中に行う項目別小テストの成績で評価を行うので、授業終了後には必ず予習・復習を行い、過去問を解くこと。(70%) 参加度(授業中の発言、予習等) 30%</p>			